



◆ アレルギー支援ネットワーク 通信 ◆



NO. 59

2011.11.1

※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

11月になりました。随分と日も短くなり、朝晩は寒さも増してきましたね。季節寒さの対策をしっかりととり、体調を崩さないようにお過ごしください。さて、今月のメルマガも様々な情報やご案内をさせていただきます。最後までお楽しみください。

==== も く じ =====

- 1、東日本大震災に対する支援活動のご報告
- 2、防災コラム 第四回 防災士 松本洋美
- 3、アレルギーっ子のおいしいレシピ 青木好子
- 4、「肌に優しいシャンプーの選び方」第七回 有限会社あんだんて 有田浩三
- 5、第6期アレルギー大学 研究実践報告「シンポジウム・記念講演」のご案内
- 6、「おやじの小耳に挟んだ話題から」第三回 東海アレルギー連絡会事務局長 足代智志
- 7、「アレルギークッキングと栄養のお話」開催のお知らせ
- 8、賛助会員からのメッセージ
- 9、11月度「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ
- 10、アンケートご協力をお願い
- 11、「アレルギーっ子の防災セット」登録についてお知らせ
- 12、新教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内
- 13、メールマガジン会員募集中！無料です。
- 14、クリック募金にご協力ください

※費用はかかりません。どうぞご協力お願いします。

<http://alle-net.bokinbako.org/0002/?pg=1>

=====

1、東日本大震災に対する支援活動のご報告 ～東北事務局より～

東北大船渡に拠点（遠野・大船渡）をかまえて以来、宮田さんらボランティアスタッフの皆さんに支えられ7ヶ月に過ぎようとしています。

支援のため6月に借りた車は、4ヶ月で12000km、土日も休まず1日平均100kmも走ったことになり、岩手・東北の被害があった地域の広さを改めて思い知らされる出来事でした。

そして、東北では、「凍結スリップ注意！」や道路の電光表示では気温4℃といった表示も見られるようになり、秋の気配から冬に向かっていきます。朝晩は寒く、ストーブを使い始めました。冬支度を本気で考えないといけない時期になり、仮設の皆さんはどうしているのかと案じられます。

また、大陸から張り出す寒気を伴う高気圧は、急激な乾燥も持ち込み、ぜん息発作を引き起こすこととなります。小児科の先生からも「ぜん息がこれから心配。ネブライザーを用意してほしい」と連絡があり、支援をしました。その他、復興支援として行う岩手県ネットアレルギー大学の打ち合わせを岩手県各部局や県栄養士会と行いました。沿岸地域での「ネットアレルギー大学」の準備も順調に進んでいます。

アレルギーの情報を伝えることは必要でありながら、数少ない小児科の先生の奮闘でなんとか治療がおこなわれている現在の状況から、復興支援の一部としてこのネットアレルギー大学は、11月から「ネットアレルギー大学記念講演」がスタートし、ネット環境がいまだ整っていない地域のためにDVDでの上映講座を予定しています。

患者が決して少なくない地域でありながら、アレルギーの情報が少ない事や小児科の先生が少なく診療もままならない状況は、とても大きく難しい課題です。今後もこの課題を持ちつつ、支援を引き続き行ってまいります。

2、防災コラム 第四回 防災士 松本洋美さん

東日本大震災から7カ月が過ぎました。被災地は、落ち着きを取り戻したかのように思われがちですが、日本列島を縦断し猛威をふるった台風が、被災地にもさらなる被害をもたらし、今も継続した支援を多くの方が望んでいます。

さて東海・東南海・南海の三連動地震による、津波の浸水域と浸水深の予想図が、10月2日の中日新聞で発表されました。

しかし、人間が勝手に想定外、想定内などと、自然災害を想定することなどできない事を、3月11日にいやというほど思い知らされたので、これは、あくまでも情報の一つとして考えるようにしなければなりません。

昔の人々の暮らしは、自然と共に生きて、自然と共に歩んできました。決して人間は、自然に逆らうことなく、それぞれに宿る神を敬い暮らしてきました。

この現代社会は、科学の進歩によって、いつの間にか人間は、自然に対して謙虚さを失い、自然の本当の怖さを忘れてしまった為、いろいろな問題がおこっているような気がします。

情報は大切ですが、結局命を守るための最後の判断は、自分が決めなければなりません。誰かが、何かと他に依存しているだけでは、本当に命は守れないことを東日本大震災が、教えてくれました。

そこで、あま市と豊橋市のアレルギーの会のママたちは、毎日アレルギー対応に追われ災害時のことは後回しになっていたけれど、アレルギー患者を抱えている自分たちだからこそ、備えておかないと本当に路頭に迷うことに

なることを痛感し、自分たちで生き抜いていくにはどうしたらよいか、メンバーが真剣に考えるようになりました。

その結果、それぞれ9月に防災勉強会を開催しました。備蓄、避難経路の確認、患者会同士のネットワークづくり、地域の皆さんともしっかり関わりをもって、アレルギー患者の事を知ってもらう事の重要性。人に頼るばかりではなく、個々の知識・技術を磨くことや、それぞれの知識・技術を互いに交換し高めあうことも大切だということも学びました。

今回の勉強会で、アレルギー患者様だけでなく、家族も守る準備をしようという考えが芽生えましたがその芽を枯らさないように、しっかり根づいてもらいたいと思いました。

他の患者会及び患者様も、両会の皆様のように、災害時の備えをしっかり行って頂きたいと思います。

3、アレルギーっ子のおいしいレシピ

「米粉でつくるピザ」

青木 好子先生

煮豚のたれとトロツとしたおもちがとってもおいしい組み合わせ。

ピザは、子どもと一緒に作れる楽しいメニュー。子どもたちにもピザ生地を練ったり、生地に具をのせる作業をお手伝いしてもらえば、子どもが大好きなピザで、いつも以上に食欲もアップします。

レシピはこちらから

4、「肌に優しいシャンプーの選び方」第七回

有限会社 あんだんて 有田浩三さん

先月からシャンプー選定に関わるキーワードの意味するところを検証しています。先月は“低刺激”で、今月は“天然系”です。シャンプーで天然物を活用する場合は、素材の由来から、

- 1)天然物を原料として合成
- 2)天然物と同一物を合成
- 3)天然物から特定物質を分離
- 4)天然物を溶剤などで抽出

の4つのケースがあるのでこれらを広く“天然系”と捉えるのがよいと思います。

★天然物の安全性

天然物であれ合成物であれ“安全なものは安全”ですし、多少問題があるようなものもどちらにでもあります。天然物と化学物質はまったく別物のような感覚で考えられがちですが、実は天然物は化学物質の集合体(*)なのです。このため単独の化学物質にない大きな魅力を持っている半面、地域、気候などにより組成が変わる問題もあります。

(*)例えばバラの香りは500種類、人のタンパク質は10万種類といわれま

す。

この長所、短所をいかにうまく使いこなして行くかが大切です。天然物の活用法は、次のように分けられます。

★ 天然物を原料として製造された素材

シャンプーに使用される洗浄成分はごく一部のものを除き、このグループに属します。石けんは、天然油脂を原料とした界面活性剤ですが、アミノ酸系、高級アルコール系なども同じです。いずれも天然由来、植物由来と言えるので差がありません。洗浄成分については、“天然”よりも先月書いた“低刺激”の方が選定上の参考になります。

なお、天然界面活性剤としては、牛乳中のカゼイン、卵黄中のレシチン、ヘチマの茎、葉などに含まれるサポニンがありますが、シャンプーの洗浄成分として使用されることはありません。従って「天然」という場合は、「天然物を原料として・・・」と考えられるとよいでしょう。

★ 天然物と同一組成のものを化学合成または微生物合成した素材

ヒアルロン酸、ヒノキチオール、トレハロースなどがこれに属します。もともと使用実績のあるものが、量産できるようになり普及が進みました。天然にこだわる方もいますが、化学的には同一なので大いに活用して欲しいものです。さらに最近では、従来合成法だけであった保湿成分のBG(1,3-ブチレングリコール)が発酵法でも作られています。これも“天然系”の1つの形として加えてよいように思います。

★ 天然物の中から特定成分を分離・精製した素材

甘草の根から得られるグリチルリチン酸(消炎成分)、ビート糖の副産物である糖蜜から得られるベタイン(保湿成分)などがあります。特定成分を単離しているので効果がはっきりしています。また、グリチルリチン酸は極めて複雑な化学構造式の化学物質なので化学合成したら大変です。分離・精製だけでこの種のもので得られるのも天然物活用の魅力の1つです。

★ 天然物を溶剤で抽出(〇〇エキスと書かれる)または分離・精製した素材

天然または自然派を謳った製品に好んで使用される素材です。多くの場合、BG、エタノールなどの溶剤で抽出されますが、その中の天然物の濃度は1%程度です。これをシャンプーに2%程度配合しないと効果を発揮しないとされます。製品中濃度は0.02%となりますが、それでも効果が出るのは天然物の魅力でもあります。

天然物のなかにはアレルギーに効果のあるものもあります。しかし、Aさんに効いてもBさんにはマイナスという個人差もあるのが天然物利用の難しいところです。

ときどき天然物10種配合という例もありますが、そのままでは溶剤が20%にもなってしまうので実際には1つの天然物の配合濃度を下げます。それだけ効果が薄れる一方、アレルギー物質は微量でも影響が出ます。

従って、天然物が10種類も入っていればそれだけ効果がありそうで魅力的ですがそれだけリスクが増えることにもなります。これをどう考えるか、いろいろなご意見があると思いますが、私は、アレルギーを避ける効果的な方法は、“シンプルイズベスト”だと考えています。

★ “天然系” “自然派”の見方

多くの方が天然、自然に安心感を持ち、化学物質に不安感をお持ちなので“天然系”などが謳われますが、“低刺激”の場合と同様、何をいつて“天然系”としているか見極める必要があります。また、その技術的な背景も知った上で判断しましょう。

一方、つくり手の方からすると、“天然系” “自然派”を謳う以上はお客様の期待に応えられるだけの真に安全・安心なものを目指すべきであろうと思います。

5、第6期アレルギー大学 研究実践報告「シンポジウム・記念講演」のご案内 丹羽つきえ

早いもので、今年もあと残り2ヶ月となりましたね。5月より6ヶ月に亘り開催してまいりました第6期アレルギー大学もいよいよ記念講演・研究実践報告のみとなりました。(新潟は一部開催中)

11月27日(日)午前は、シンポジウム・記念講演で最新のアレルギー研究成果や診療について詳しくお話いただきます。また、午後は受講生によるアレルギーへの取り組みの報告と東京より、アレルギー大学千葉会場の講師を務めていただきました、足立はるよ先生をお迎えして、記念講演を開催いたします。

今年度アレルギー大学講座のまとめです。まだ、若干お席がございませので、お聞き逃しのない様、皆さまお誘いあわせのうえご参加ください。

6、「おやじの小耳に挟んだ話題から」第三回 東海アレルギー連絡会事務局 局長 足代智志

朝晩の気温が下がり、紅葉が鮮やかに色づく時期になりました。

この時期はぜん息が多い時期でもありますので、なぜこの時期にぜん息が多いのかを調べてみました。

まずは、朝晩と日中の温度差でしょうか。摂氏5~10度くらいは当たり前で差の大きなところだと摂氏20度くらいまで差のある地域もあります。

朝晩の冷たい空気も負担になりますが、夜露が降りていれば、夜露の分の水分の抜けた空気が日中、気温が上がると一時的とは言え湿度が下がった乾いた空気になってしまいます、これも気管支には負担になりますね。

気温の変化が大きいと、涼しさ(寒さ)のせいで熟睡できず疲労が回復できていない→ぜん息発作が起きやすくなるような事も起こり得るのではないかと思います。

次に思いついたのが、室内のホコリ。空気が冷えてきたせいで、服もやや厚めの物を着るようになって、衣更えも重なって服のから出るホコリも増えてきます。また、人によっては秋の花粉症シーズンでもあるので、窓を開けて換気できにくくなっている方もいらっしゃるようです。

そして、少し前の時期なら気圧。台風が来ると体の調子が悪くなると聞きます。

この間、私の住む浜松市を直撃した台風15号の時、ぜん息持ちの息子（小学3年）は、接近中は特に変わった事はなく、通過後に軽い発作が出たそうです。（私はJRが運行を見合わせたため、帰宅困難になり駅で一夜を過ごしたため、直接状況を見てはいません。）

とある免疫学の先生のホームページでは、台風通過後の方がぜん息発作の発生は多いようであると出ていました。台風通過中に受診することは難しいので結果として通過後に受診となった人が数に入っているのではなどと思いましたが、台風がなんらかの影響をもたらしているのは事実のようです。

でも、台風の気圧は超大型と言われるもので920hpaくらい、高度差で950mくらいです。

スキー場や紅葉などで賑わう山などの高さを想像していただくとわかりやすいかと思います。このような行楽地は、車などで数時間の間に移動できる高さですので、台風の気圧変化より短時間で同じくらいの気圧に下がる事になります。しかし、私は車で山に行って、ぜん息発作が出た事例を聞いたことがありません。（知らないだけかも知れませんが…）

外圧と表面積の関係で、赤ちゃんのように体が小さければ、影響が出るのかもしれませんが、台風の接近・通過の気圧変化が直接の原因とは言えないようです。

しかし、子どもたちの経験から「台風」という言葉で、災害への不安や学校が休みになる！など心理的影響から睡眠不足と気圧の変化が合間って、体調の変調→ぜん息発作を起こすなどと言うことも考えられるかなと私は思っています。

結論としては、素人が考えても答えは出そうにないので、ぜん息発作を起こさせないために、「小まめな掃除、健康管理、発作を起こさないための早めの対策」といういつもと変わらない事に尽きるのかなあ…となんとも情けないところに落ちてしまいました。

7、「アレルギークッキングと栄養のお話」開催のお知らせ

クリスマスのパーティ料理にもピッタリの「カナッペ」を、米粉を使い表示義務7品目除去の材料で作ります。

今回のクッキング講師には、アレルギー大学・上級講座修了の管理栄養士・

榎村春江さんをお招きして、食物アレルギーがあり、アレルゲンの除去をされている方のために、「栄養のお話」もさせていただきます。

どちらにお住まいのどなたでもご参加できます。

託児はありませんが、お子様連れで参加していただいても構いません。

日時：11月10日（木） 10:00-14:00

場所：天白生涯学習センター・料理室（名古屋市天白区）

参加費：材料代実費（600-700円程度）

詳細はチラシをごらんください。

お申込は、アレルギー支援ネットワーク事務局まで、メール・お電話・FAX
でお願いします。

皆さまのご参加をおまちしております。

8、賛助会員からのメッセージ —株式会社 越後天風—

皆さま、はじめまして。株式会社 越後天風です。

弊社では米アレルギーの原因であるたんぱく質を95%除去した米飯『A-カットごはん』と米粉パン『A-カットパン』を販売しています。

また、以下のようなこだわりを持ち、安全でおいしい商品をお届けするように努めております。

■酵母（イースト）・膨張材・ショートニングは一切使っていません。

■保存料は使っておりません。

今回は米と同様に、小麦の主要アレルゲンを95%除去した『A-カット小麦』シリーズをご紹介します。

A-カット米パン、米飯に関してはこちらからどうぞ。

<http://www.a-cut.jp/>

A-カット小麦シリーズは専用ページあるいは、楽天市場でお買い求めいただけます

<http://www.echigo-komugi.jp/index.html>

<http://www.rakuten.co.jp/tenpuu/>

当社の製品が、お客様にとって豊かな食卓を彩る一助になればこれ以上に嬉しいことはありません。

今後とも、A-カットシリーズをよろしく願いいたします。

9、11月度「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ぜん息など、アレルギーを持っている

お子さんの事、アレルギーかな？と、お悩みのある方、私たちと一緒にお話をしませんか？

アレルギー児の親の交流会が12ヶ所になりました。

どこの交流会へも参加可能です。

交流会を実施している区外、或いは近郊の市町にお住まいの方の参加やお問合せも多く、ご要望の多いところから順に交流会の開催準備をすすめています。今月から昭和区のアレルギーの会を設立します。参加希望の方はご連絡を下さい。

是非、ご参加下さい。お待ちしております。

11月	2日(水)	西尾アレルギーの会	アレツ子元気	総合福祉センター
	4階	和室	洗心庵	
	4日(金)	緑アレルギーの会		緑生涯学習センター
		料理室		
	9日(水)	あま市アレルギーの会		美和公民館
		室		
	10日(木)	天白アレルギーの会		天白区生涯学習センター
		料理室		
	15日(火)	名古屋南部アレルギーの会		南区役所内
		協調理実習室		社
	15日(火)	アレルギー支援ネットワーク		アレルギー支援ネットワーク
		事務所		
	16日(水)	名東区アレルギーの会		名東生涯学習センター
	17日(木)	豊橋アレルギーの会		豊障会館「さくらピア」
		児童保育室		
	18日(金)	昭和区アレルギーの会		昭和生涯学習センター
	22日(火)	日進アレルギーの会		日進市北部福祉会館
	23日(水・祝)	刈谷アレルギー児の親の会		刈谷市民ボランティア支援センター

守山アレルギーの会は、お休みです。

【対象】0歳～中学生位までのアレルギー児の保護者

【参加費用】各交流会に確認して下さい。

お申込は電話 052-485-5208 URL<http://www.alle-net.com/>

皆様のご参加をお待ちしております。

10、アンケートご協力をお願い

10月中旬、メールマガジンご登録の皆さまへアンケートご協力のお願いを配信させていただきました。既にご回答下さった皆さまは、ご協力いただき誠にありがとうございました。

現在もアンケート回答を受け付けておりますのでまだご回答いただいていない皆さまはぜひご協力の程よろしくお願いいたします。

今回のアンケートは、アレルギーに対応し、一般の消費者の方々にもご利用いただける米粉および米粉製品についての検討を行うため、食物アレルギーをお持ちの皆様やそのご家族の方々がどのようなニーズをお持ちか、ご意見をお聞きする内容となっております。

現在の米粉・米粉製品に対する率直なご意見・ご感想・ご要望を含め、アンケートへご回答・ご協力をお願い致します。

このアンケートは、アレルギーに対応する新しい米粉・米粉製品の参考にさせていただくもので、本調査の目的以外には利用いたしません。

皆さまのご協力により、よりよいアレルギー対応製品の開発につながります。ご夫婦の方は、ご回答が異なると思いますので、アンケートはぜひ、お二人別でご入力下さい。

アンケート量が少し多いですが、何卒ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

なお、今回のアンケートは、食物アレルギーをお持ちの方または、食物アレルギーをお持ちの方のご家族に限らせていただきます。また、ご回答いただいた方は、アンケートの趣旨に同意していただいたものとさせていただきますのでご了承ください。

アンケートの回答はこちらから

↓↓

<http://www.efeel.to/survey/komeko/>

11、「アレルギーっ子の防災セット」登録についてお知らせ

アレルギー支援ネットワークは震災を通じ直面した課題克服と今後の災害発生に向けて、「アレルギーっ子の防災セット」の普及活動を行っております。

緊急事態でも迅速かつ的確にアレルギー支援活動を行うための「アレルギーっ子の防災セット」は、「登録シリコンバンド」「緊急連絡カード」「安否確認システム」の3点がセットになっています。

お申込みはアレルギー支援ネットワークのHPから「安否確認システム」に登録することで、1患者につき「登録番号入りシリコンバンド1本」と「緊急連絡カード3枚」が郵送されます。登録対象者は、アレルギー患者本人ま

たは保護者の方です。アレルギー支援ネットワークや各患者会などの会員以外の方も登録可能で、一切費用はかかりません。ぜひ、ご登録をご検討下さい。

また、登録の際にご注意いただきたい点があります。下記の注意点をご確認の上ご登録下さい。

① 迷惑メールフィルター設定をしていませんか。

仮登録をされた後、本登録していただくためのホームページのリンクを仮登録で入力していただいたメールアドレスに送信していますが、迷惑メールフィルターによって受信不能（弾かれる）になっている方がたくさんいらっしゃいます。携帯端末だけではなく、yahooやGmailなどのフリーメール、プロバイダ提供のメールフィルターでも起きています。

お手数をおかけしますが、迷惑メールフィルターの設定を今一度ご確認をお願いいたします。

PCメールの受信（システムからの自動・一斉送信を受信）、なりすましメール（メーリングリストからのメールを受信）の設定をお願いいたします。

その際のアドレス（ドメイン）は、@alle-sien.sakura.ne.jp と、@alle-res.com です。

② 登録の際、「ルート認証が確認できないため、接続できません」等の警告が表示され、接続できなくなる

ご登録の際に、i-modeやezweb、Y!ケータイなどで接続すると表示が出てしまい接続できない場合があります。これは、暗号化通信で中継してくれるサーバがパソコン用（一部のドコモの機種に対応）の回線にしか対応できていないために発生しています。

これらを避けるため、皆様の登録の際には、「フルブラウザ」「PCサイトビューア」「PCサイトブラウザ」などのパソコン用のホームページ閲覧機能をお使いいただき、「ルート認証が確認できません」と出ても無視して接続してください。

それでも接続できない場合、登録や情報更新の時は、申し訳ありませんがパソコンをご利用ください。

また、すでに登録されている方で、パスワード設定をされていない方（8月末から接続されていない方）は、防災ネットワークのトップページ左下の「パスワードを忘れた方は、こちら」の「こちら」をクリックしていただき、パスワードを設定してください。

新システムからご自身で登録情報の確認や更新ができるようになります。

なお、新システムはまだ改修途中で、登録内容の入力方法の簡素化や医療機関・協力組織との連動性の向上などを進めています。

皆様には、まだご迷惑をおかけするかもしれませんがよろしく申し上げます。

12、新教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内

皆さまは、既にお持ちですか。アレルギーに関わる皆様のバイブルとなる「食物アレルギーの基礎と対応」。

本書は、宇理須先生監修の下、アレルギー専門の医師やアレルギー対応給食の現場で活躍されていた先生等専門の方々に執筆・編集協力をしていただいております。充実した内容になっています。

アレルギー大学を受講されている皆さまはもちろん、アレルギーに携わる仕事をされている方、アレルギーのご家族がいらっしゃる方、アレルギーに関わる皆さまにぜひ、お手元へ置いていただきたい一冊です。

13、メールマガジン会員募集中！無料です。

アレルギー最新情報や地域の会の情報など、「アレルギー」に関する情報満載の「アレルギー支援ネットワーク・メールマガジン」。ただいまご購読会員募集中。ご購読は無料です。みなさんの周りの方にも、ぜひご登録をおすすめください。また「こんなことを取り上げてほしい」「知りたい情報がある」などメールマガジンで取り上げる記事についてのご要望もお待ちしています。あなたの声で、アレルギー対策が一步前進するかもしれません！
info@alle-net.comまでお気軽にどうぞ。

14、クリック募金にご協力ください

アレルギー支援ネットワーク「募金箱」へのご協力をありがとうございます。募金箱とは皆様がインターネット上から簡単に募金ができるサイトです。ご協賛スポンサー様のバナーをクリックしたり、ご協賛スポンサーサイト様でお買い物をしていただくだけで私達の活動を支援するための募金、寄付ができる仕組みです。ひきつづき皆様のご協力のご支援、ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。下記サイトからお願いします。

<http://alle-net.bokinbako.org/0002/?pg=1>

※認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワークは寄付金控除対象団体です※
「giveone」

<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10108>

「東海ろうきん NPO 寄付システム」

<http://tokai.rokin.or.jp/npo/index.html> を通じてでも寄付をお願いしております。寄付の方法や支援していただく事業などは、各リンク先をご確認ください。また直接の寄付および領収書発行等につきましては、下記事務所までお問い合わせください。

=====
★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは
asn-mailmagazine@alle-net.com(メルマガ編集部)までお願いします。また、

今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。（メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。）

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、メルマガ編集部 asn-mailmagazine@alle-net.com までお尋ねください。なおメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

☆☆☆みなさまからのご質問を募集中！アレルギーや支援ネットワークに関することなんでもOKです。ぜひお気軽にどうぞ☆☆☆

★みなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

発行/編集 認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇

453-0021 愛知県名古屋市中村区松原町 1-24 COMBi 本陣 S103

▽TEL : 052-485-5208

▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----